



不正行為

不正のトライアングルとは？

【研修について】

- ・本研修の目安時間は、15分間です。
- ・講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

【本研修の目的】

- ・隣の人や、後ろの人と**意見交換をしながら、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。**

不正のトライアングルとは？

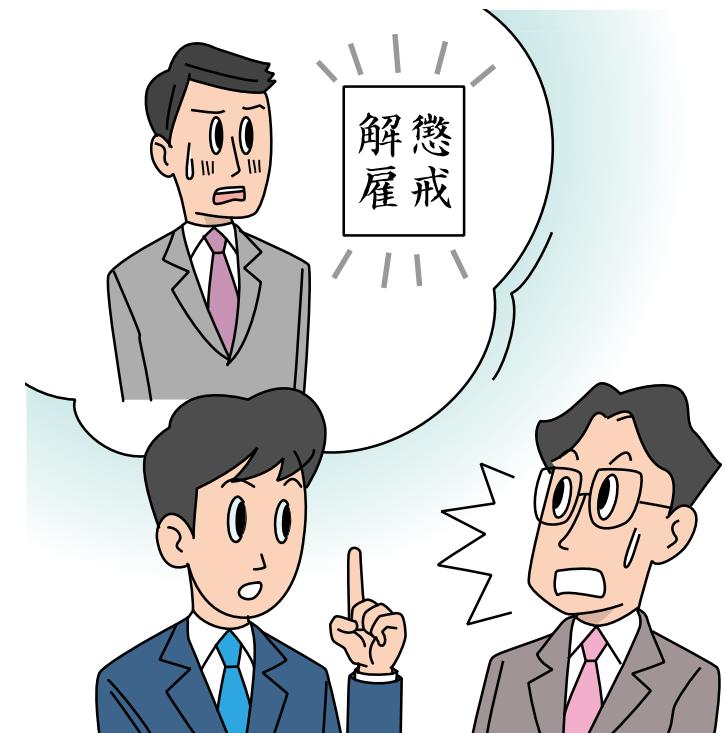
不正のトライアングルとは？

営業部に所属するトップ営業マンのAさんが、数年前からカラ出張で、不正に出張費を受け取っていたことがわかり、懲戒解雇になったという事件を耳にしました。

Aさんは、競馬などのギャンブルに給料のほとんどを費やしており、それでも足りず消費者金融からも多額の借り入れをしていたそうです。

Q1

「お金が必要だった」という動機でAさんは不正を行いました。他にはどのような要因が考えられますか？



不正のトライアングルとは？

A

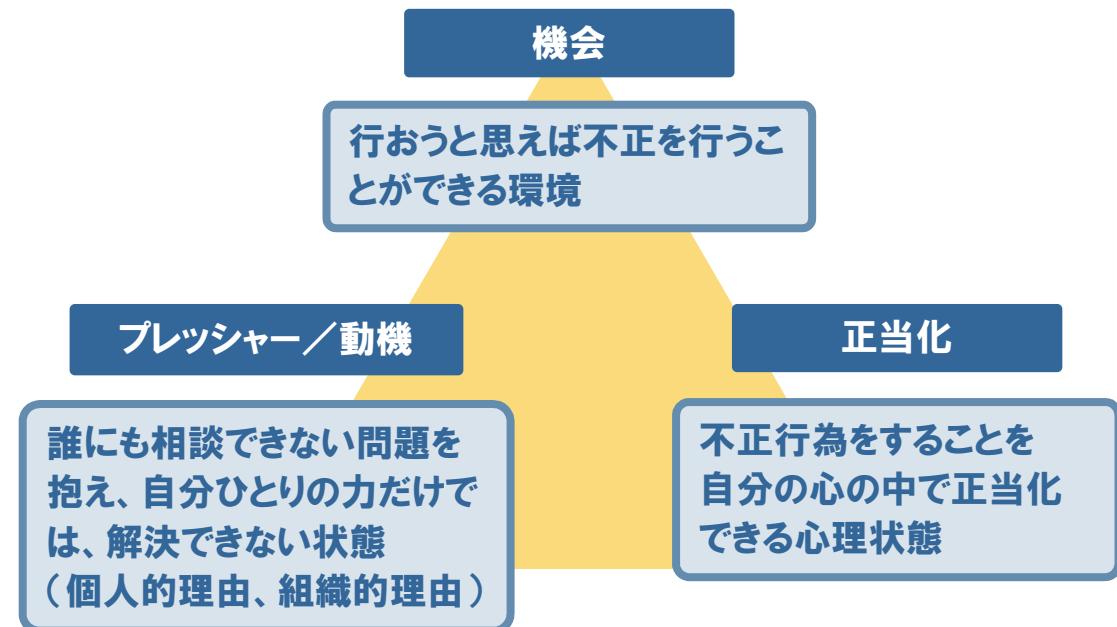
1

- ・機会： 架空の出張費を請求しても疑われなかつたから
- ・正当化：トップ営業マンとして会社に貢献しているので、この位は許されると考えたから

<不正のトライアングル>



不正行為は、上記の「機会」、「正当化」、「プレッシャー／動機」の3要素が揃ったときに行われる傾向にあります。これを『不正のトライアングル』と呼びます。



不正のトライアングルとは？

Q2

**業務や私生活において、
不正のトライアングルの
「機会」、「正当化」、
「プレッシャー・動機」
となるのは、どのような状況
・理由でしょうか？**

不正のトライアングルとは？

A

2

以下のような状況が考えられます。

機会

- ・上司や周りの人たちからのチェックが入らない状態
- ・重要な決済の承認者が自分である
- ・システムにログインしても、ログが残らず、だれがアクセスしたかわからない状態など

正当化

- ・自分だけでなく、周りの人もやっている
- ・自分が正しく評価されていない
- ・そもそも、給料が少なすぎる
- ・借りただけで、後で返そうと思った
- ・会社を守るためだったなど

プレッシャー・動機

- ・お金が必要だった
- ・ストレスを発散したかった
- ・不正を働かないと、立ちゆかなくなる
- ・会社から、課せられているノルマが重すぎる
- ・上司からの圧力があった
- ・外部から利益供与があったなど

不正のトライアングルが揃い起きた、不祥事の事例

大手証券会社

元システム部社員が、約148万人分の顧客情報を不正に持ち出し、うち約5万人分の情報を名簿業者に売却。未使用的ログインIDを不正に使用して、データベースにアクセスしていた。売却して得たお金は、消費者金融への返済に充てていた。
※ストレスを発散するための飲食費でできた借金とのこと。

不正のトライアングルとは？

Q3

では、不正のトライアングルが
発生しやすい職場は、
どのような状況であると
想像できるでしょうか？

不正のトライアングルとは？

A

3

以下のような、状況であると想像されます

- ・チェック機能が働いていない
- ・コミュニケーションが希薄
- ・チームワークができていない

- ・小さな不正が横行している
- ・コンプライアンス意識が低い
- ・身勝手な考えをする人が多い

- ・過剰なノルマが課せられている
- ・職場の風通しが悪い



不正のトライアングルとは？

Q4

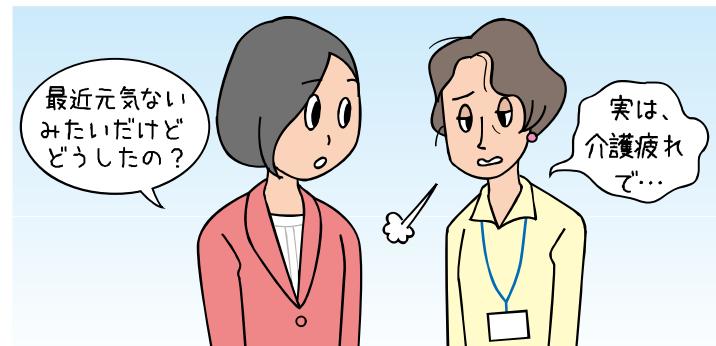
では、不正が起きにくい職場にするには、職場としてどのような対策をとるべきでしょうか？

不正のトライアングルとは？

A

4

- ・ 密なコミュニケーションで、風通しのよい職場をつくる。
- ・ 悩みを抱えている従業員がいれば、積極的に声をかける。
- ・ 適宜、チェックを行い「バレないだろう」という気持ちを払拭させる。
- ・ たった一つの不正が、自身や家族、同僚や会社を巻き込む大きな問題になることを周知する。



全員が協力して
不正を生み出さない職場を作り上げましょう

不正のトライアングルとは？

会社と働く人たち、その家族を守るのは
あなたのコンプライアンス行動です。

お疲れ様でした。